

1. スクール・ニューディール (2) エコ化関係

公立小中学校への太陽光発電の導入について

政府

太陽光発電などの
地方自治体等の設
備導入に対する補
助を行う



発電量モニターを設置

早期に現在の10倍となる
1万2千校への設置を目指す



校舎屋根に太陽光パネルを設置



庇を兼ねた太陽光パネルを設置

エコスクール

支援による効果

1 CO2削減

20kWパネル設置で年間
11トン削減

2 環境教育

パネル本体や発電量
モニターを教材化

3 省エネ

学校の年間電力需要
の1割程度節約
(20kWパネルの場合)

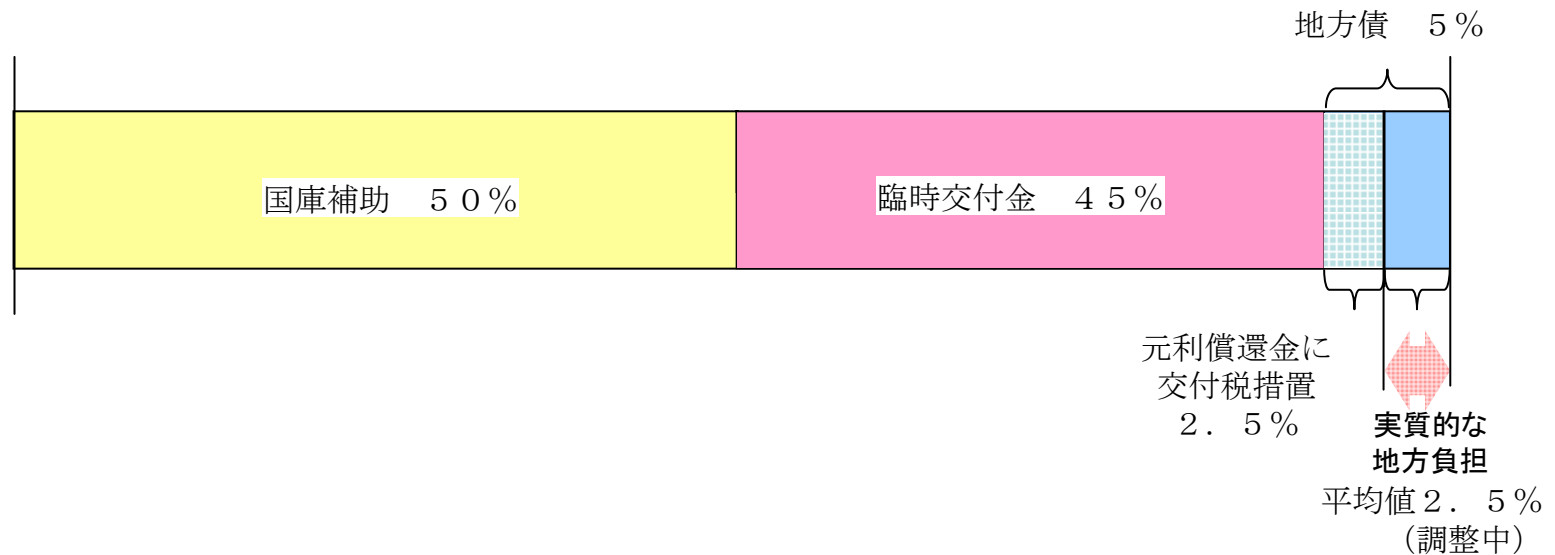
4 防災機能

被災時の非常用電源
としても活用

公立高等学校の太陽光発電等のエコ改修についても「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」で措置

○公立小中学校等施設への太陽光パネルの設置 (平成21年度補正予算から措置)

※地方負担分の90%に「地域活性化・公共投資臨時交付金」を充当する方向



**国負担が1/2 →国負担（国庫補助＋臨時交付金）の平均9.5/10
で設定予定（調整中）**

（注）「実質的な地方負担」分については、すべて単位費用により措置される

学校 太陽光発電等のエコ改修 国庫補助申請受付(第2期)のご案内

(平成21年度補正予算)

○ 第1期の募集(6月中旬)に続き

今後、平成21年秋頃に

第2期の募集!

関係省庁(文部科学省、経済産業省、環境省)からの情報提供

- ・ 私たちの学校に太陽光発電を
ースクール・ニューディール構想・太陽光発電版ー (配布済み)
- ・ 学校における太陽光発電導入の取り組み事例 (配布済み)
- ・ 太陽光発電導入の手引きの作成 (7月上旬目処)
- ・ 「スクール・ニューディール&地域新エネコンベンション」(募集中)
(各地域ブロックで6月17日から25日に開催)

問い合わせ窓口：文部科学省大臣官房文教施設部施設助成課技術係

03-5253-4111(2051)

○地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用について

公立高等学校太陽光発電導入等推進事業

環境教育の教材としての活用や環境負荷の低減の効果等が期待されることから、地方公共団体が実施する、公立高等学校における、太陽光発電等の自然エネルギーの利用をはじめとした学校施設のエコ改修(省エネ改修等を含む)に交付金を充当する。



学校への太陽光発電導入 ～財政支援以外の主な取組み～

1. 意義、効果等の普及啓発

○太陽光発電の意義・効果、先進的活用事例等のパンフレット、事例集

2. 導入、運用時の留意事項の情報提供

○導入に向けて検討するための留意事項について通知

○学校における太陽光発電の手引きの作成、周知(7月上旬目処)

・技術的水準の向上に結びつく設計・施工上の留意点、維持管理、発注方法(保証期間、発電効率などの例示)

※ 発注プロセスについて、地域の実情に応じ、工事期間の検討、複数の設置工事をまとめるなどの工夫を行う

※ 多数の学校に同時に設置するなどの際、設置者の必要に応じ、実施が考えられる発注方式の例示(CM(コンストラクション・マネジメント)方式、設計・施工一括発注方式、計画段階から運用までのコンサルティング・管理の依頼)

・環境・エネルギー教育に有効な技術面、運営面での工夫の先進的活用事例等

○技術上の相談窓口の設置

○地域中小企業者の受注機会の増大に努めるよう依頼

3. 地方公共団体への普及啓発

○関係省庁と連携した主催説明会の開催、都道府県知事・市町村長や、教育委員会・環境部局、地方経済産業局への働きかけ

○学校への太陽光発電導入のHPの開設

※ 文部科学省トップページに掲載 HPアドレス:<http://www.mext.go.jp/>

学校施設のエコ化の推進

世界全体の温室効果ガスの排出量削減のためには低炭素社会の実現に向けたあらゆる取組を加速させることが必要であることから、学校施設において、太陽光発電設備の導入や省エネ性能を確保した施設・設備等の整備を図る。

(整備内容)

冷暖房負荷の低減 ～ 外壁の断熱化、断熱ガラス・二重サッシ、庇・ルーバーの設置 等

新エネ・省エネ設備の導入 ～ 太陽光発電設備、省エネ空調機、高効率照明器具、節水器具の導入 等

屋外教育環境の緑化の推進 ～ 校庭芝生化・ビオトープ 等

太陽光発電設備



節水型トイレ



校庭芝生化・ビオトープ



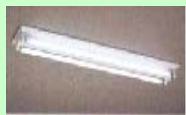
内装木質化



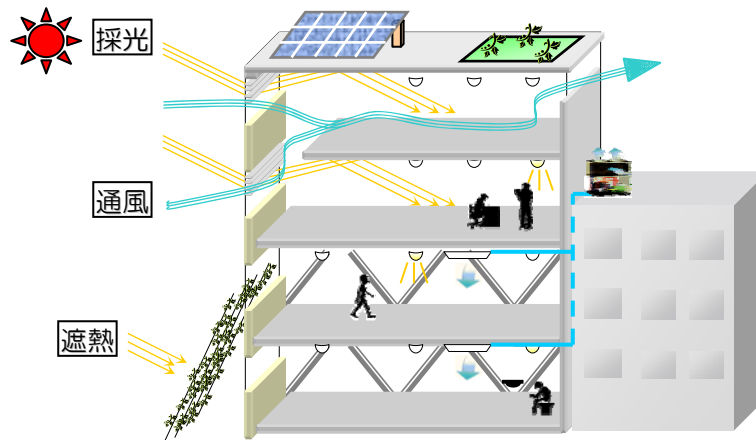
断熱材吹付



高効率照明器具



人感センサー
昼光センサー

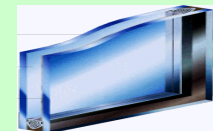


老朽改善整備(一例)

省エネ型空調機への更新

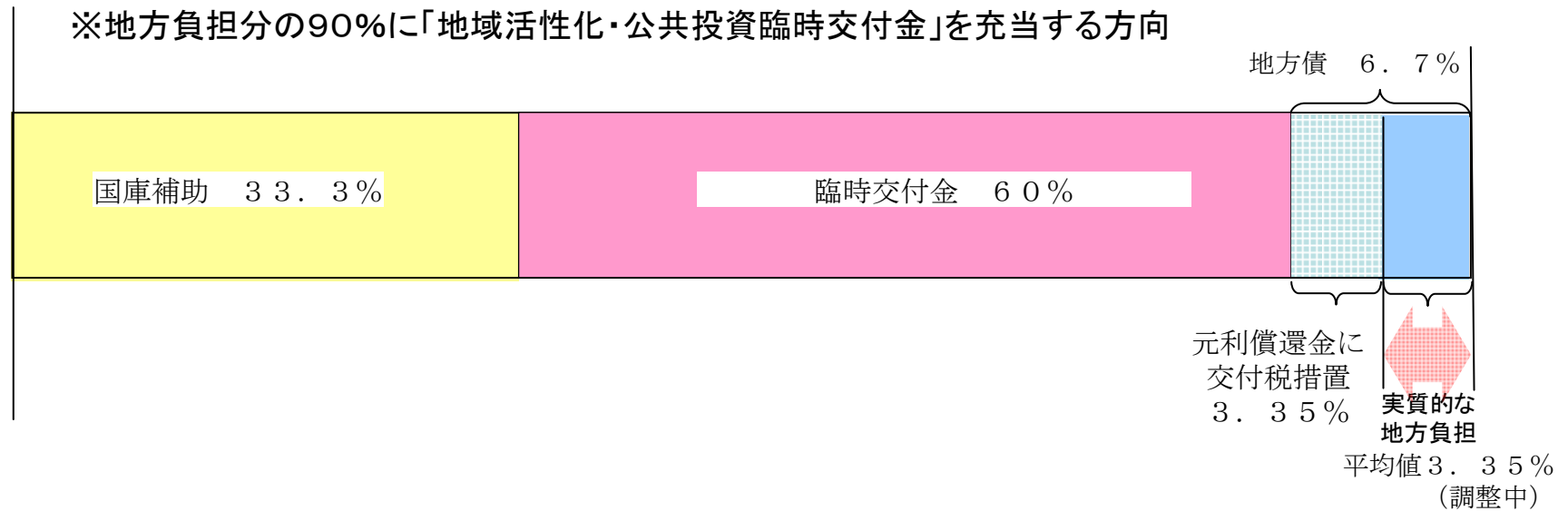


断熱ガラス・二重サッシ



○公立学校施設のエコ化

省エネ改修・校庭の芝生化・ビオトープ(平成21年度補正予算で行う場合)



国負担が1/3 → 国負担(国庫補助+臨時交付金)の平均約9.3/10で設定予定(調整中)

(注) 「実質的な地方負担」分については、すべて単位費用により措置される